

## 令和5年度第3回社会教育委員の会議 会議要旨

日 時：令和6年2月2日（金）13：30～  
場 所：生涯学習総合センター研修室5・6  
出席者：委員9名、事務局7名

### 1. 委嘱状交付

### 2. 会議

#### (1)開会

#### (2)教育長いさつ

#### (3)自己紹介

#### (4)議長、副議長選出

○議長に小林一裕委員、副議長に長沼敬貴委員を選出

#### (5)議事

##### ①本市の社会教育及び社会教育委員の役割について

・質疑、意見なし

##### ②任期を通した議題（テーマ）の設定について

○任期を通して、一つのテーマを設定して協議することとした。

○テーマについては、事務局より案を提示して各委員より意見をいただいた。

⇒ テーマ案：時代の変化に対応した社会教育の推進について

##### 【委員からの主な意見】

- ・テーマについては賛成だが、時代の変化について具体例が4つ挙げられており、提言の際は、この4つを意識しなければいけないのか、それとももう少し柔軟に他の問題も考えていくのか。
- ・この「時代の変化に対応した」という部分は、とても大きな枠に感じるので、もう少し身近なものでも良いのではないか。
- ・子どもの数が少なくなってきて、子ども会の活動がままならない状態が続くと見込まれている。社会教育においても子どもは重要であり、何か改善するような形での提言ができれば良いと考えている。
- ・テーマがものすごく先のほうにあるので、まずは市が直面している人口減少や少子高齢化など、もう少し身近なところにテーマを置いて意見を交換した方がよいと思う。

- ・市として、まずは現状を把握し分析することが必要であり、そこからスタートして、「時代の変化に対応した」社会教育の推進について考えていくべきである。
- ・テーマがちょっと大きすぎるので、もう少し絞り、市の問題点をよく考えた上でのテーマ設定が良い。
- ・「時代の変化」とは、市としてはどんな具体的な変化があるのかということをもまず議論してから始めるのが良いと思う。
- ・少子化や人口減少というのは解決課題ではなくて、受け入れていく課題として捉えたほうが、良いのではないかと思う。その中でいろんな提言をしていくというように考えて議論していけば、少し楽なのかなと思う。
- ・問題解決はもちろん大切だが、どのような形で会津若松市を良くしていくか、というように明るいことを考える場にすると良いのではないか。
- ・資料に「未来に繋ぐ人づくり」や「豊かで魅力ある地域づくり」とあるが、これらに繋がるように社会教育がどうあるべきか、ということではどうか。
- ・子どもたちやここで住んでいる方々が、会津についてこれってどうなんだろうという探求心をくすぐられるような、そういう社会教育であれば前に進めるのではないか。
- ・探求を主軸とした社会教育の実現というプランを考えていくというのは非常に未来を感じるし、若者がそういうことをすごく好むと思うので、そういう形は良いと思う。
- ・会津を知るといふ探求型の社会教育という方向でいけば良いのではないかということだと思うがどうか。会津を知って、その魅力を生涯学習にどう活かしていくかというようなイメージで良いと思う。



テーマを「会津若松の魅力を生かす社会教育の推進」に決定

### ③北会津地区社会教育連絡協議会の役員の選出について

○事務局案のとおり決定（質疑、意見なし）

### (6)その他

・なし

### (7)閉会